

「基幹定点」医療機関のみなさまへ

インフルエンザの サーベイランスが 変わります！

2011年9月5日から

インフルエンザ入院サーベイランスがスタート

2009年の新型インフルエンザ(A/H1N1)発生以来、厚生労働省はインフルエンザによる重症者の動向を把握するために「重症サーベイランス」を実施し、インフルエンザ患者の急性脳症の発症、人工呼吸器や集中治療室(ICU)の利用等について、医療機関から保健所へご報告をいただけてきました。

そして、2011年9月5日からは、重症サーベイランスに代わり「入院サーベイランス」を実施いたします。

入院サーベイランスでは、「基幹定点」医療機関よりインフルエンザによる入院患者の発生状況や重症化の傾向をご報告いただき、国が集計した情報を医療機関へフィードバックし、インフルエンザの診療にお役立ていただきます。

入院サーベイランスのスタートに伴い、医療機関からご報告をいただく内容や方法がこれまでと変わってまいります。

みなさまにおかれましては、入院サーベイランスの趣旨をご理解いただき、あらためてご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「入院」という客観的指標で 重症化リスクの程度を把握、 医療機関へフィードバックします

なぜ入院サーベイランスを行うのか

これまで実施してきた重症サーベイランスでは、ご報告をいただく医療機関のみならず、情報を収集する自治体のご協力により
 ○インフルエンザが健康に与える影響度を、「重症化」を示す複数の指標で把握し、より具体的な情報をフィードバックする
 ○行政判断に必要なデータを取得し、より効果的な対策に反映するという成果を上げることができました。
 半面、医療機関や自治体に大きな負担をおかけしたことが課題として挙げられました。

2011年9月5日から実施する入院サーベイランスは、重症サーベイランスの成果と課題をふまえて

- 「入院」という客観的指標で、インフルエンザによる重症化リスクの程度を把握する
- 報告対象の明確化・報告内容の簡素化を図り、医療機関と自治体の負担を軽減することをめざします。

ご報告いただくデータはインフルエンザの流行期に毎週公表し、医療機関のみならず自治体へフィードバックし、日々のインフルエンザ診療にご活用いただけるものとします。

従来の重症サーベイランスからの変更点

従来の重症サーベイランス	変更点	入院サーベイランス
全医療機関から報告	医療機関、自治体の負担軽減	基幹定点医療機関から報告
入院中の複数回報告		入院時のみの1回報告
重症者・死亡者を報告	報告対象の明確化	入院患者を報告
臨床（カルテ）情報も報告	報告内容の簡素化	医療対応のみの報告
通年、毎週公表		流行期に、毎週公表

インフルエンザによる入院患者の概況

平成23年9月15日時点

年齢	9月1日～9月10日	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院患者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
1歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
1～4歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
5～9歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
10～14歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
15～19歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
20～29歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
30～39歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
40～49歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
50～59歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
60～69歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
70～79歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
80歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

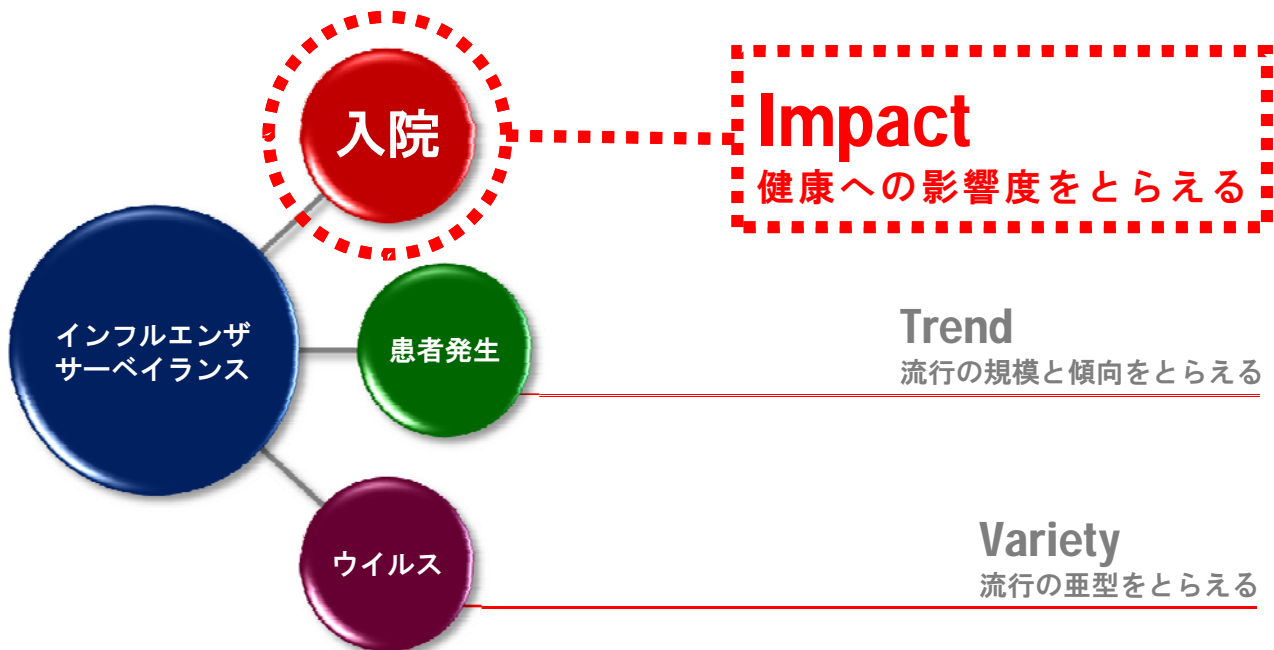
年齢	9月1日～9月10日	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ICU入室	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
人工呼吸器の利用	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【情報のフィードバック】
ご報告いただいたデータを
毎週金曜日に公表予定。

入院サーベイランスは インフルエンザが健康に与える インパクトをとらえます

インフルエンザの本質を知る入院サーベイランス

「入院」という客観的指標で、インフルエンザによる重症化リスクの程度を把握する入院サーベイランスは、インフルエンザが健康に与えるインパクト（影響度）をとらえ、その本質（怖さ）を数値化するサーベイランスといえます。入院サーベイランスをはじめ、すでに実施している患者発生サーベイランス、ウイルスサーベイランスのデータの蓄積と組み合わせによって、将来的にはインフルエンザに対する評価の3D化（多面的評価）が期待できます。



〈本件のお問い合わせ先〉

和歌山市保健所 感染症対策班
TEL:073-433-2261
FAX:073-433-2313
HP : kansen-wakayama.jp

感染症情報を医療者へダイレクトにお届けする、厚生労働省のメールマガジン

感 染 症 エ ク ス プ レ ス @ 厚 労 省

厚生労働省では、2011年6月から『感染症エクスプレス@厚労省』を配信中です。ぜひ日常の感染症診療にお役立てください。

<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/>